

さんじょう 市議会だより

市民の暮らしと三条市議会をつなぐ一冊

5.16

No.32

2019

Sanjo City Council

ひとこま

桜の季節

認定こども園松葉幼稚園は、開園以来 99 回目の入園式が行われました。旧三条小学校跡地には、新しく図書館等複合施設の建設が予定されています。北三条駅周辺には桜が今年も満開になりました。



今号の主な内容

- P.2~** 平成31年(2019年)3月定例会(3月1日~25日)
平成31年度三条市一般会計予算
辺地総合整備計画の策定について ほか
- P.4~** 市政を問う
大綱質疑:施政方針の経済状況が活況を呈していることの認識について ほか
討論:平成31年度三条市一般会計予算 ほか
一般質問:大崎山公園の景観対策について ほか
常任委員会審査レポート:ふるさと三条応援寄附金幅広く情報収集し検討 ほか
- P.13~** ぎいん見聞録
行政視察報告:通年議会について(愛知県豊明市) ほか

議会を傍聴しませんか?

次の定例会の
開催予定は

6/17(月)~

議会だよりへのご意見・ご要望は、こちらまで。
電話:0256-34-5583 FAX:0256-33-8861
メール:gikaij@city.sanjo.niigata.jp

インターネットでも情報発信中!

三条市議会

検索

平成31年(2019年) 3月定例会 全議案原案のとおり決定

第1回定例会は、3月1日から25日までの25日間にわたって開かれました。初日は、市長から平成31年度1年間の基本方針や政策についての施政方針演説が行われました。

市長提出議案は、施政方針に沿った「平成31年度三条市一般会計予算」530億3800万円、「6つの特別会計の平成31年度予算」232億3720万円、「平成31年度三条市水道事業会計予算」28億9529万5000円のほか、「消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整理に関する条例の制定」などの条例案件、笠堀辺地および中浦辺地に係る辺地総合整備計画の期間終了に伴う新たな計画の策定、国の補正予算を活用した事業費などを盛り込んだ「平成30年度三条市一般会計補正予算」約8億9300万円など25件が上程されました。

これらの議案は、各常任委員会での審査を経て、最終日の採決の結果、全て原案のとおり可決または承認しました。

このほか請願の採択に伴い、関係行政庁へ意見書を提出することになりました。

議案	区分	番号	件名	概要	審査した委員会	会派名 (下段は所属議員数)					議決結果
						自由クラブ	清風クラブ	日本共産党議員団	公明党議員団	無所属	
条例	議第14号		三条市教育事務の職務権限の特例に関する条例等の一部改正について	文化財保護法及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、教育委員会の権限に属する文化財の保護に関する事務について、市長の権限において管理し、及び執行することができるようになるため、現在教育委員会が市長部局の職員に補助執行させている当該事務の職務権限を市長に移すことなどから、関係する条例について必要な改正を行うもの 施行期日:平成31年4月1日	総務文教常任委員会	○	○	○	○	○	原案可決
	議第15号		三条市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	働き方改革の取り組みにより民間企業で働く労働者の労働時間に関する法制度が見直されたことを踏まえ、職員の健康の保持増進等を図るため、時間外勤務の制限を設けるとともに、休日勤務の代休制度を拡充することから、必要な改正を行うもの 施行期日:平成31年4月1日	総務文教常任委員会	○	○	○	○	○	原案可決
	議第16号		三条市手数料条例の一部改正について	建築物に関する確認等に係る手数料を適正な額に見直すとともに、建築基準法の一部改正により建築主事を置く市町村の長等に新たに付与される権限に係る事務の手数料を定めることから、必要な改正を行うもの 施行期日:建築基準法の一部を改正する法律(平成30年法律第67号)第2条の施行の日またはこの条例の公布の日のいずれか遅い日等	経済建設常任委員会	○	○	○	○	○	原案可決
	議第17号		三条市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	災害弔慰金の支給等に関する法律等の一部改正に伴い、災害援護資金の制度内容について、市町村の定める事項が拡大されることから、被災者に対し無利子で災害援護資金を貸し付けることとするなど、必要な改正を行うもの 施行期日:平成31年4月1日	市民福祉常任委員会	○	○	○	○	○	原案可決
	議第18号		三条市子ども医療費助成条例の一部改正について	子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、子ども医療費の助成対象期間を拡大することから、必要な改正を行うもの 施行期日:令和元年10月1日	総務文教常任委員会	○	○	○	○	○	原案可決
	議第19号		三条市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正について	適切な受益者負担の在り方等を踏まえ、一般廃棄物および産業廃棄物の処理に係る手数料を適切に額に見直すなど、必要な改正を行うもの 施行期日:平成31年4月1日等	市民福祉常任委員会	○	○	×	○	○	原案可決
	議第20号		三条市水道法に基づく布設工事監督者を配置する水道の布設工事等を定める条例の一部改正について	学校教育法等の一部改正に伴い、水道布設工事監督者および水道技術管理者の資格について必要な改正を行うもの 施行期日:平成31年4月1日	経済建設常任委員会	○	○	○	○	○	原案可決
	議第21号		三条市白鳥の郷公苑の指定管理者の指定について	三条市白鳥の郷公苑の指定管理者として、森町白鳥の郷公苑管理組合を指定するもの 指定の期間:平成31年4月1日から令和6年3月31日まで	経済建設常任委員会	○	○	○	○	○	原案可決
	議第22号		新潟県市町村総合事務組合規約の変更について	非常勤職員に対する公務災害の補償等に関する事務を共同処理する構成団体に三条・燕・西蒲・南蒲広域養護ホーム施設組合を加えることに伴い、新潟県市町村総合事務組合規約を変更するもの 施行期日:総務大臣の許可の日	総務文教常任委員会	○	○	○	○	○	原案可決
	議第23号		平成30年度三条市一般会計補正予算	国の補正予算に伴う学校施設環境改善交付金の内定を受けたことに伴い、井栗小学校の外壁改修工事に係る経費を予算措置するとともに、第二中学校のトイレ改修工事に係る地方債の充当率の引き上げに伴う財源更正を行うもの 補正額 1億841万円 補正後の額 513億1,970万円	総務文教常任委員会	○	○	○	○	○	原案可決
報告	報第1号		専決処分報告について(損害賠償の額の決定及び和解について)	除雪作業中の事故による物的損害について、損害賠償の額を決定し、および和解するもの 損害賠償の額 52万2,072円 専決処分日:平成31年2月18日	経済建設常任委員会	○	○	○	○	○	承認
	報第2号		専決処分報告について(平成30年度三条市一般会計補正予算)	今冬の降雪に伴い不足が見込まれる除排雪経費のほか、平成29年度の国の子どものための教育・保育給付費負担金等の額の確定に伴う償還金について、必要な予算措置を行ったもの 補正額 2億8,826万9,000円 補正後の額 504億2,605万5,000円 専決処分日:平成31年2月8日	総務文教常任委員会 経済建設常任委員会	○	○	○	○	○	承認
(議員発案)											
	第1号		高齢基礎年金等の支給額改善と年金の毎月支給を求める意見書の提出について	高齢基礎年金等の支給額を改善し、年金の支給を隔月から毎月への変更を要望する意見書を提出するもの 提出先:内閣総理大臣、厚生労働大臣	(委員会付託省略)	○	○	○	○	○	原案可決
(請願)											
	第4号		高齢基礎年金等の支給額改善と年金の毎月支給を求める請願	高齢基礎年金等の支給額を改善し、年金の支給を隔月から毎月への変更を求めるもの	市民福祉常任委員会	○	○	○	○	○	採択
	第5号		10月からの消費税10%への増税中止を国に求める請願	10月からの消費税10%への増税中止を求める意見書を政府に送付するよう求めるもの	総務文教常任委員会	×	×	○	×	×	不採択

※1 佐藤宗司議員は賛成、長橋一弘議員は反対

議案賛否一覧表

○:議案に対して賛成
×:議案に対して反対

議案	区分	番号	件名	概要	審査した委員会	会派名 (下段は所属議員数)					議決結果
						自由クラブ	清風クラブ	日本共産党議員団	公明党議員団	無所属	
(市長提出)											
予算	議第1号		平成31年度三条市一般会計予算	530億3,800万円(対前年度比14.3%増)	総務文教常任委員会 市民福祉常任委員会 経済建設常任委員会	○	○	×	○	※1	原案可決
	議第2号		平成31年度三条市国民健康保険事業特別会計予算	85億9,200万円(対前年度比0.8%減)	市民福祉常任委員会	○	○	○	○	○	原案可決
	議第3号		平成31年度三条市後期高齢者医療特別会計予算	11億380万円(対前年度比6.7%増)	市民福祉常任委員会	○	○	×	○	○	原案可決
	議第4号		平成31年度三条市介護保険事業特別会計予算	97億1,230万円(対前年度比4.8%増)	市民福祉常任委員会	○	○	○	○	○	原案可決
	議第5号		平成31年度三条市農業集落排水事業特別会計予算	7億6,380万円(対前年度比5.8%増)	経済建設常任委員会	○	○	○	○	○	原案可決
	議第6号		平成31年度三条市勤労者福祉共済事業特別会計予算	1,820万円(対前年度比8.3%増)	経済建設常任委員会	○	○	○	○	○	原案可決
	議第7号		平成31年度三条市公共下水道事業特別会計予算	30億4,710万円(対前年度比23.5%増)	経済建設常任委員会	○	○	○	○	○	原案可決
	議第8号		平成31年度三条市水道事業会計予算	収益的支出 20億1,208万1,000円(対前年度比1.0%増) 資本的支出 8億8,321万4,000円(対前年度比3.9%減)	経済建設常任委員会	○	○	○	○	○	原案可決
	議第9号		平成30年度三条市一般会計補正予算	道路改良事業やプレミアム付き商品券の発行に係る国の補正予算に伴う事業に要する経費のほか、市道消費施設工事費補助金の増額、職員の退職に伴う退職手当に係る経費などについて、必要な予算措置を行うもの 補正額 7億8,523万5,000円 補正後の額 512億1,129万円	総務文教常任委員会 市民福祉常任委員会 経済建設常任委員会	○	○	○	○	○	原案可決
	議第10号		平成30年度三条市介護保険事業特別会計補正予算	サービス利用者の増加などによる介護予防・生活支援サービス事業費等について増額するとともに、不用額が見込まれる居宅介護サービス給付費の減額を行うもの 補正額 0円 補正後の額 94億4,886万3,000円 (歳入歳出予算の款項の金額の補正)	市民福祉常任委員会	○	○	○	○	○	原案可決
	議第11号		平成30年度三条市公共下水道事業特別会計補正予算	平成29年度に発生した落雷に係る災害復旧事業について、国の負担金の交付決定を受けたことに伴う財源更正を行うほか、平成30年度内に事業が完了しない事業について繰越明許費を措置するもの 補正額 0円 補正後の額 24億6,650万円 (歳入歳出予算の款項の金額の補正)	経済建設常任委員会	○	○	○	○	○	原案可決
その他	議第12号		辺地総合整備計画の策定について	平成28年度に策定した笠堀辺地と中浦辺地に係る辺地総合整備計画について、平成30年度で計画期間が終了することに伴い、新たな計画を策定するもの 計画期間:平成31年度から令和3年度まで	市民福祉常任委員会	○	○	○	○	○	原案可決
条例	議第13号		消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	消費税率および地方消費税率が引き上げられることから、関係条例について必要な改正を行うもの 施行期日:令和元年10月1日	総務文教常任委員会	○	○	×	○	○	原案可決

市政の？を
問いました

大綱質疑

3月定例会では、
4会派が大綱質疑
を行いました。

施政方針

Q 前期実施計画の全体的な評価を定量的、定性的にどう捉えているのか。

A 全体的な評価となると人口動態がどうなのかに尽きる。人口動態の平成22年から平成27年と平成17年から平成22年の人口増減を比較すると、ほぼ全ての世代で改善が見られており、人口動態の改善傾向は引き続き継続しており、一定の成果を上げ続けていると認識している。

Q これまで取り組んできた小中一貫教育の成果をどう捉えているのか。

A 児童生徒の学校生活における満足度や社会性の習得度を分析するハイパーQU検査において、他者への配慮や関わり等の社会的スキルが全国平均を大きく上回っており、子どもたちに生きる力が身に付いてきていると捉えている。学力の面も年度により若干の上下はあるが、おおむね偏差値

が50を上回ってきており、学力向上にも成果が出ているものと捉えている。今後は、これまでの取り組みを継続しながら、学園を構成する各学校の交流を一層円滑なものとするべく、乗り入れ授業の拡大などにより教員同士の交流をさらに充実させていく。

Q 施政方針の経済状況が活況を呈していることの認識についてはどうか。

A 地元シンクタンクは、見通しはあまり良くないと発表しているが、有効求人倍率が高い状況で推移し、設備投資も進められている。しかし、米中貿易摩擦や消費税増税の影響などは注視していきたい。

Q 独自の求人情報発信ウェブサイトを、三条おしごとナビの運用はどうか。

A 開設は3月7日を予定。参加企業数は現在85社で、開設の当初は62社、77件の求人企業情報でスタートする見込みである。

議第19号

三条市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正について

Q 指定ごみ袋が20%値上げになるが、値上げの理由は何か。

A ごみ処理経費が近年増加し、10月に消費税が増税されるなどを踏まえ、再算定した結果だ。

議第13号

消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

Q 消費税増税に伴う条例の整理だが負担はいくらか。

A 平成31年度当初予算の水道料金など5つの使用料等で940万5000円増加。通年では4436万3000円増加すると見込んでいる。



Q このたび改訂した豪雨災害対応ガイドブックは、どのようなポイントの改訂なのか。

A 避難発令基準水位の見直しで、浸水の到達時間が異なることから、迅速な避難につながるよう発令する。これまでは、100年から150年の大雨について想定したものを、1000年に1回の大雨を想定して区域図に掲載したものである。

Q 本年1月に施設建設に着手した医療系高等教育機関の学校名はどうか。

A 運営業者が三条看護・医療・歯科衛生専門学校として設置計画書を県に提出している。

Q 今年10月から予定されている幼児教育、保育の無償化に向けて具体的な内容はどうか。

A 保育所の3歳児から5歳児の副食費を除き、認可保育所や認定こども園、幼稚園を利用する3歳児から5歳児、および住民税非課税世帯のゼロ歳児から2歳児の利用料を無償とするものである。

議第1号

平成31年度三条市一般会計予算

Q 今年10月から消費税が増税される。来年度予算の影響はどうか。

A 一般会計、特別会計の歳出合計で約2億1000万円増加すると見込んでいる。通年では約4億1000万円増加すると見込んでいる。

Q 土木費で、トリムの森の整備に1億1500万円の予算を計上している。整備の中身はどうか。

A 現在8基の遊具のうち6基を撤去し、新設の遊具を配置する予定。利用者の動線を意識し、自然と一体で楽しめる空間に整備する。

議第9号

平成30年度三条市一般会計補正予算

Q 市道沿線住民が管理する消雪パイプが、昨年の大雪の影響で井戸が枯れたり、ポンプやノズルの破損などの修繕要望の増加とあるが、新設要望はあったのか。

A また、消雪組合員の高齢化や地区住民の減少など、消雪パイプに係る維持

会派所属議員

自由クラブ	○久住 久俊	阿部銀次郎	佐藤 和雄	森山 昭	武石 栄二	野寄 久雄	馬場 博文
清風クラブ	○西川 重則	横山 一雄	山田 富義	岡田 竜一	名古屋 豊	酒井 健	
日本共産党議員団	○小林 誠	西沢 慶一	坂井 良永				
公明党議員団	○野崎 正志	笹川 信子					
無所属	佐藤 宗司	長橋 一弘					

※○：会派の代表者

2月に河原井議員および杉井議員の辞職に伴い、会派所属議員の変更および常任委員会の人事の変更がありました。

論

討



日本共産党議員団
議第1号 平成31年度三条市一般会
計予算

一般任用職員報酬については、行政が率先して不安定雇用を進めていくことであり認められない。
三条技能創造大学施設建設事業費について反対する。県内における18歳の人口が減少している下で、大学間競争が激しくなっている。定員通りの学生を確保することは難しく、この計画には無理がある。
商工会議所への補助金については、商工会議所未加入の小規模な事業所にも目を向けた商工政策が必要と考える。
さんじょう一番星育成事業費は、難関大学に挑戦できる人材育成とエリート育成を推し進めることを目的として始められたが、これは本来、公教育の役目ではない。
県同和教育研究協議会負担金については、子ども達に差別のない教育と幅広く人権の尊さを教えることは大切だが、同和教育という特別枠で教える必要はない。
議第3号 平成31年度三条市後期高齢者医療特別会計予算
制度の廃止を求める立場から反対する。
議第13号 消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
消費増税に反対する立場から反対する。
議第19号 三条市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正について
処理手数料を20%も上乗せすることに反対する。

自由クラブ
議第1号 平成31年度三条市一般会計予算

工業流通団地や住宅団地、ものづくり産業や観光の振興などの取り組みが人口動態の改善や税源涵養にもつながることから、一般会計予算の諸事業は少子高齢化・人口減少社会に対応する総合計画に掲げた施策として適切で、人口動態のさらなる改善が期待できることから賛成する。
一般任用職員制度、三条技能創造大学施設建設事業費、商工会議所振興事業補助金、さんじょう一番星育成事業費、県同和教育研究協議会負担金についてもそれぞれ有効性・必要性が認められることから賛成する。
議第3号 平成31年度三条市後期高齢者医療特別会計予算
後期高齢者医療制度は、国の制度設計に従った予算であり、内容に反対する理由はないので賛成する。
議第13号 消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
消費税率の引き上げは、国で十分議論され決定されたもので、三条市議会の議論になじまない。消費税の増収分により市民の負担軽減も図られることから反対する理由はない。
議第19号 三条市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正について
平成15年の有料化以来、家庭ごみの処理手数料は据え置かれてきたが、この間ゴミ処理経費は約1億円増加し、消費税率も今年10月には当時の5%から10%になる。引き上げ幅も廃棄物減量等推進審議会の答申を踏まえたものから賛成する。

議員のQ&A 三条市の一般質問 ～3月定例会ダイジェスト～

大崎山公園の景観対策について

Q 過去2回の質問同様に新潟県観光協会でも、大崎山公園には素晴らしい展望台があるが、周囲の樹木の成長が著しく期待したほどの展望が得られなかったとコメントしている。対策の検討結果はどうか。

A 樹木の伐採が必要なことから、民地の所有者の協力を頂きながら進めたい。展望台のかさ上げなどの公園整備については、公園長寿命化計画の中で平成32年(令和2年)度以降の実施を予定している。整備に当たっては、改めて利用者の視点に立った上でコスト面も含めたあるべき姿について検討し、進めていきたい。

國定市長が示した待ったなしの人口減対策について

Q 大型公共事業めじろ押しよりも一人一人の市民の暮らしを守ることが大切なのではないか。

A 大学、工業団地、住宅団地と入れ物だけでなく、子育てしやすい、住みやすい、学校環境も良い、産業活動も盛んで仕事先もしっかりしている、老後も安心して住める、こうした一人一人の暮らしを守ることも大切と思うがどう考えるか。

A 子どもから高齢者までの誰もがこのまちに住み続けたいと実感できることが肝要だと思いい、総合計画の中ではあらゆる政策を動員しての人口動態の改善に向けた取り組みを展開している。

原発事故の際の三条市の避難計画について

Q 吹雪の夜、地震で原発が爆発したら三条市民はどうやって避難したらよいか。避難者の受け入れ計画はどうなっているのか。



浪江駅前放置バス



無人の町と化した浪江町駅前

A 有事の際は、市が用意したバスや市民の自家用車で福島方面へ避難する。受け入れは長岡市からの避難者を受け入れる。

Q パルム清算に対する市民の疑問について説明してほしい。

A 三条昭栄開発(株)として株主総会で決議しており、市として答弁すべきものではない。

マイナンバーカードの活用によるマイキープラットフォーム構想について

Q 市として具体的な活用はどうか。

A マイキープラットフォームでは、クレジットカード等の民間ポイントと地域内の決済や寄付などに使用でき、自治体ポイントと交換できる。総務省の説明会に参加するなど情報収集に努めている。

防災・減災対策について

Q 自主的に作成する地区防災計画の推進はどうか。

A 計画策定に必要な情報を積極的に提供する。市全体の計画と整合性を図りつつ、実効性のある計画となるよう支援する。

Q 住んでいる場所や家族構成、年齢などによって災害対策が異なることから、自らの行動計画を時系列に



定めるマイタイムラインを普及、推進してはどうか。

A 豪雨災害対応ガイドブックの逃げどきマップの判定フローによる行動指針を基に、自身が取るべき行動を事前に考えることが、本質的にマイタイムラインとして同様に活用できるものと考えている。



7・13水害の状況

高齢者肺炎球菌ワクチンについて

Q 接種人数や接種率はどうか。

A 予防接種は、平成26年度から29年度までの合計で1万2091人が接種を受け、接種率は約45%である。

Q 丁寧な周知が必要と考えるがどうか。

A 引き続き個別通知をはじめ丁寧に周知をする。

第三セクター「三条昭栄開発株」の清算手続きについて

Q 第四銀行が出店されたことで、昭栄地域および中心市街地のにぎわい創出は実現できたのか。

A 一ノ木戸商店街の通行量は、格段に増加したしテナントも新規に4件ほど決まった。

Q 市民の血税から捻出した出資金900万円の行方はどうか。

A 10番議員に答えた通りである。

Q 平成26年8月の解散から今年1月の清算まで、4年5カ月間の時系列での事実はどうなのか。

A 三条市は株主だったとはいえ、会社の経営内容は承知していない。

Q 債務である8400万円の「未払い金」の内容は。

A 会社の経営内容は承知していない。

Q 裁判所に昨年の10月に「特定調停」を申し出ているが、その内容はどうなのか。

なるのではないかと心配される。どのように対応しているのか。

A 地域に密着した、とりわけ外来を中心とした機能を有する三条総合病院は継続していく必要がある。三条市は直接参画できる立場ではないが、各方面に働きかけていく。

消費税について

Q 消費に対する罰金のような消費税増税は内需を冷え込ませ、国民を貧困化させると元内閣参与が指摘している。地域経済に与える影響や市民の暮らしを考えれば、見直しを政府に訴えるべきではないか。

A 地域経済を考えれば影響は懸念されるが、政府は影響がないように各種政策を用意した。景気が冷え込むことがないよう支援策を有効に活用していく。

教員の働き方改革について

Q 三条市の教員の勤務時間に関する実態調査はどうか。教員には業務が多く、中教審は業務削減の方策を示したが、どのように考えるか。

A 会社の経営内容は承知していない。

Q 三条昭栄開発株の社長(代表清算人)と第四銀行とは、ギブ・アンド・テイク、つまり貸し借りの間柄のようにみえるが特殊な関係でもあるのか。

A 承知していない。

Q 寄付金収入177万円でプラマイゼロにしているが、寄付をされた方はどなたか。

A 承知していない。

防災減災について

Q 防災意識の向上のため、暮らしに役立つ情報提供をしてはどうか。

A 改訂を進めている豪雨災害対応ガイドブックで、避難のための日ごろの備えなどのページを設け、暮らしに役立つ情報提供を行っている。また、住民への説明会を通じて日常的に取り組めることが進むよう取り組んでいきたい。

犯罪被害者等支援基本条例の策定について

Q 犯罪の多様化によって、警察等の関係機関との対応はどのようになっているのか。

A 昨年6月から月60時間を超える超過勤務の調査を進めている。県平均を下回っているが、80時間超過勤務、100時間超過勤務についても調査しており、しっかりと対応していく。カウンセラーの配置などによる業務支援に努めている。スクールサポートスタッフという県費の人材が市内3校に配置されている。マンパワーの補充などを県に求めていきたい。常に業務管理、適切な業務改善が進むよう指導している。いじめ、不登校の解決に向け、教員の過度な負担をなくし、子どもと関われる時間を増やし、速やかな対応につなげていかなければならない。



教員のゆとりが求められる教育現場

A 三条警察署と教育委員会と合同で検討を行い、通学路危険箇所合同点検を行うなど、児童生徒の安全確保に努めている。

Q 被害者の立ち直りに役立つ支援サービス実施のための予算の確保や、人員の確保のためにも、犯罪被害者等支援基本条例が必要であると思うがどうか。

A 条例については他市の策定状況にも注視し、今後の必要性も含めて支援の在り方について関係機関と研究していく。

成人式について



平成30年度 成人式にて

骨髄バンク事業の推進について

Q 骨髄提供者の負担軽減のための助成金交付状況はどうか。ドナー登録した人の勤務先への助成等を考えてはどうか。

A 骨髄を提供した市民を対象に病院、入院について1日当たり2万円、7日を限度に支援している。平成28年度に2件の実績がある。提供者の勤務先への助成は行っていない。県内や全国の状況を注視していきたい。

米の生産調整

Q 生産者主体の需給調整になって2年目を迎える。2年連続の不作により米価は上昇傾向だが、生産過剰になれば暴落の危険性がある。米価安定のため行政の支援が必要だ。

A 関係団体と連携を取りながら、用途ごとの需給状況や支援策の状況の提供に努めていく。

三条市の医療の今後について

Q 県央基幹病院の開院が日程上ってきた。救命救急センターに期待する一方で、三条総合病院がなく

防犯カメラ設置事業に補助制度を

Q 児童生徒の安全のため、自治会が通学路に防犯カメラを設置する場合、費用の一部を補助すべきでないか。

A 三条市防犯協会の補助制度（1台1万円、1自治会5台が上限）を利用していただきたい。通学路に特化した補助制度を創設することは考えていない。



通学中の児童

農商工連携を

Q 燕市では紫黒米を使ったラスク等が新潟市主催の6次化フェアで大賞を受賞した。三条市も農商工連携で地元農産物を使った特産品を育てるべきでないか。

A 意欲ある生産者から取り組みの相談を受けた際には、必要に応じた支援をしていきたい。

空き家における農地取得の下限面積緩和を

Q 就農希望者が農地とセットで空き家を購入する場合、農地面積は合計50アール以上必要だ。農地取得面積の緩和をすべきでないか。

A 近年全国的には下限面積を引き下げる自治体が多くなってきている。全国の動向を注視し、必要に応じて検討を行う。

不登校対応、もっと民間と連携を

Q 教育機会確保法に照らした行政によるさらなる学校以外の学び場の設置や民間との連携が必要ではないか。

A 適応指導教室や民間施設との連携は当然だが、プライバシー保護の観点から保護者の同意に基づいて必要な連携を図ってきたい。民間施設からのアプローチに対しては、情報共有、対応共有をしていく。

三条市の子育て支援

Q 待機児童解消事業の検証はどうか。

A 昨年は6人発生したが、事業実施で一定の効果はあった。

2019スカイランナー！ ワイルドシリーズ

Q 市の役割と今後の開催について伺う。

A 円滑な大会運営と下田地域の魅力向上のため、人的、資金面でサポートし、引き続き開催を考えている。



PHOTO BY SHO FUJIMAKI

粟ヶ岳を駆け降りるスカイランナー

公民館等の再編は利用率も重視

Q 三条市公共施設再配置計画で他施設への集約化、複合化や地域への譲渡、状況によって廃止および解体を検討するとしていた施設について、今後の利用率は考慮されるのか。

A 利用率は重要な指標。地域住民や利用者の理解、協力が不可欠であり、計画期間内に関係者の皆さまに丁寧に説明していきたい。

統廃合議論は地域の声を最優先



3年後に2つの複式学級編制が見込まれる旭小学校

カメムシ等の害虫対策

Q 対応が必要ではないか。

A カメムシには薬剤購入費を補助する。害虫等も下田の豊かな自然の魅力と認知されるよう努める。



カメムシ

名下多目的集会施設の 雪害対策

Q 早急に改善すべきではないか。

A 状況を踏まえ、最善策を検討する。



名下多目的集会施設

Q 複式2学級編制が継続しても統廃合の検討に入るのではなく、保護者や地域の声が優先されるのか。

A 統廃合を行政が一方的に進めるのではなく、保護者や地域住民と課題意識を共有しながら共通認識をつくっていくプロセスが大切。今後の児童数の推計を示す中で、小規模校のメリット、デメリットを説明し、最終受益者である子どもたちのための方策を相談していきたい。

三条市のリフォーム補助金の現状と将来について

Q 移住支援補助金はどうなのか。

A これまでは市外から転入する40歳未満を対象としており、平成29年度1件、30年度1件の利用があった。平成31年度からは既存の制度を見直し、空き家バンクを活用する市内在住者にも対象を広げていく。

Q 高齢者等の住宅改修への支援はどうなのか。

A 介護保険サービスによる住宅改修費の支給実績は308件、支給金額は2779万6000円。県の補助事業を活用した高齢者等住宅整備

投票率向上

Q 移動期日前投票所等ハード面も検討してはどうか。

A 費用対効果や公平性等も加味し研究する。

加茂市との連携

Q 応急診療所の未納負担金、三条市清掃センターのごみ処理の経費について伺う。

A 未納負担金は約1900万円、最終年度までの負担金は約2800万円。ごみは304t、約477万円を支払い済み。



森林経営管理法

Q 対応についてはどうか。

A 来年度約850万円の交付金が見込まれる。経営管理の調査、計画は作成しない。

Q 市の責務を伺う。

A 所有者による適切な経営管理が行われるよう支援する。



常任委員会 レポート

各委員会に付託された議案等について議会最終日に委員長が審査経過と結果を報告します。

総務文教常任委員会

野崎久雄 委員長

ふるさと三条応援寄附金 幅広く情報収集し検討

【議第1号】

平成31年度三条市一般会計予算

Q 葉山町は、ふるさと応援寄附金で葉山御用邸近くの橋を直すとテレビで紹介されていた。工事費を寄附金で賄うような知恵やアイデアがあってもいいと思う。検討する価値があるのではないかと。

A 今のところ、特定の用途を掲げて寄付を募っていない。他にもいろんな工夫をしているところがあると思うので、幅広く情報収集しながら必要に応じて特定の用途が出た場合、検討したい。

Q 学生が実習先企業の企業秘密に近いものを学んだ場合、そこに就職しないで、よそへ就職するというのでは、教える側もどこまで教えたいのか難しいと思う。どう考えているのか。

A 学生が実習へ行く際、誓約書の形で情報を外部には漏らさないという方法をとりたい。また、教育の中でもそういう機密情報の保持は大事になってくると考えている。

Q 消防団活動費で、新規に除雪用具を購入するということが、どこで使うのか。

A 昨冬の降雪を災害の一種と捉え、通学路の業者による除雪が間に合わない場合、地域やPTAなどいろんな力をお借りしなければならないが、消防団からは最後の力になっていただきたいことから、予算要求したものの。

付託された議案のうち、議第1号および議第13号は賛成多数で、その他は全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。



市民福祉常任委員会

小林 誠 委員長

三条市体育文化会館の愛称は開館後に募集

【議第1号】

平成31年度三条市一般会計予算

Q 12月定例会の当委員会で、全委員が「三条市体育文化会館には、条例で定める名称とは別に愛称を付けるべき」との意見を述べた。この件に関して検討はしたのか。

A 市民から施設に親しみを持ってもらうため、愛称の募集を行いたい。募集の時期は、施設

設を実際に使用していく中でふさわしいものを提案してほしいという趣旨で、開館後1年程度までの間を考えている。

Q 手づくりしかけ絵本コンクールは、図書館栄分館が仕掛け絵本蔵書日本一であることをPRするための特色ある事業というならば、応募作品の巡回展を市内各小学校で開催するなど、子どもたちが作品に触れる機会を増やさないともったいないのではないかと。

A 平成30年度は、教育センターおよび中央公民館を会場とした作品展に加え、三条マルシェでの展示なども行ったが、今後はより多くの子どもたちから作品に触れてもらえるよう取り組みたい。



付託された議案のうち、議第1号、議第3号および議第19号は賛成多数で、その他は全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。

経済建設常任委員会

山田富義 委員長

チッタスロー*の世界観に基づいた取り組みを推進

【議第1号】

平成31年度三条市一般会計予算

Q 農産物の販路開拓に当たり、もっと海外に目を向けたいと思うか。

A 例えばカトラリーや調理器具等の三条産品を海外で販売する際、実演が非常に有効との話があり、こうした場面で三条産農作物を使うことにより販路を模索できるのではないかと考えている。

Q 下田地域の保育園の給食に補助金を交付することは、他の地域に対して不公平ではないか。

A 下田地域におけるチッタスローの世界観に基づき、3歳未満児の給食で有機栽培米を使用するもの。まずは下田地域

で実施したい。

Q 大企業がターゲットとしない分野で付加価値の高いものを手がけることは的を射ていると思うが、これまでの状況はどうか。また、中小企業への力添えが急務ではないか。

A ものづくりのニッチ分野において既に成果を上げている企業もあり、ここに追従できるような事業を新たに行う。また、同分野への進出企業を探すべく、ヒアリングやセミナーを行う中で、具体的な支援策の構築につなげたい。

付託された議案のうち、議第1号は賛成多数で、その他は全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。



行政視察報告

ざいん見聞録

議会運営委員会

◎佐藤和雄、◎河原井拓也

野崎久雄、馬場博文、名古屋豊、横山一雄、西沢慶一、笹川信子

◎通年議会について(愛知県豊明市)

通年議会については、議会基本条例の制定による会議規則等の整備に伴い平成24年4月から導入している。

議会側で感じるメリットとしては、休会中であっても議長の権限で会議を再開することができる。常任委員会等の審査日程の設定も柔軟に対応することが可能となり、議案審査や所管事項調査の日数が増えることとなる。

で、議会の政策立案、行政監視機能の強化につながる。デメリットとしては、緊急議会の日程調査等が困難。



豊明市議会

平成31年1月29日～1月31日

つ緊急議会が開催されるか分からないので個人的な予定を組めない等が挙げられていた。三条市議会としても他市の動向を注視しながら、今後議会改革の一つとして議題に上げていく必要性を感じた。

◎災害発生時等の活動要綱について(愛知県岩倉市)

災害時は、市長を本部長とした災害対策本部が立ち上がる。議会側では議員個々に情報を流すのみで、議会全体としては明確な役割があるかといえないというのが多くの市町村の現状。岩倉市議会では、市の対策本部に対して議長を本部長に災害対策本部を設置し、各議員からの情報を議長が集約し、対策本部に提供するという仕組みである。中には防災士の資格を持つ議員もおり、防災訓練等においてシミュレーションを行っている。市議の皆さんは、災害時に地元地域

の災害状況についてつぶさに連絡をし、現場を混乱させているという状況の中、役所側から邪魔をしないしてほしいと言われたのが、きっかけのこと。三条市でも岩倉市と同様な取り組みを進めていくことが必要と感じた。

また、岩倉市議会議長のあいさつの中で「視察対応をしながら他地域の議会と話すこと

とによって逆に勉強させられる」との話しを伺い、議員個人はもとより議会全体としての意識の高さが伺えた。



岩倉市議会

◎反問権について(埼玉県久喜市)

反問権については使用した例はほとんどない。あっても質問の聞き直し程度である。反問権を使うことで質問の掘り下げをし、理解を深めるなどのメリットがあると考えていたが、実際はそこまで活用はされていないと感じた。

複数常任委員会制について、久喜市では5つの常任委員会があり、その中でも予算決算常任委員会が特徴的で、議会における効果としては議案不可分

の原則に基づき適正な審査がなされること、条例等の議案と一般会計予算案、一般会計決算認定議案が同じ委員により審査されるため、事業と予算の整合性が図られることが挙げられること。

課題としては、常任委員会の散会后に分科会を開催するなど運営が煩雑になる。ほぼ全員が予算決算常任委員会委員のため、委員会2日目の討論、採決の後、同日の本会議で再び同様の討論、採決を行わなくてはならないなど、効率性に問題があるとしている。

三条市議会として、今後反問権や複数常任委員会等の導入を検討していくことも必要と感じた。

◎まとめ

市民に対する議会への関心を高めるためには、活発に議会活動、議会改革に取り組むことが必要であり、そのためには議会活動に専念できる環境整備が大事だと感じた。この行政視察で得られた事項を参考に、さらに調査研究を行っていき



久喜市議会

イタリア語でスローシティの意。効率化によって失われた地域固有の文化や産業の質を重視するまちのこと。

市議会の会議の様子を自由にご覧いただけます

Q 市議会の会議を見たいのですが

A 各種会議を公開しています。
※16歳未満の人は、成人の付き添いが必要です。



次の会議が傍聴できます。

- 3、6、9、12月 ★定例会(全議員で構成する会議。上程された案件を審議)
上程：会議の日程に組み入れて、議題とし、審議の対象とすること
- 必要に応じて ★臨時会(定例会では間に合わない場合に開催し、上程された案件を審議)
- ★各派代表者会議(各会派の代表者間の会議)
- ★議会運営委員会(議会の議事運営を協議)
- ★常任委員会(上程された案件を分野ごとに審査)
[総務文教、市民福祉、経済建設の3委員会]
- ★特別委員会(特定の案件の調査、研究を行う)
[高等教育機関調査特別委員会]
- ★全員協議会(市政に関する重要な事項等を協議または調整)
- ★常任委員協議会(常任委員会の所管に関する事項を協議または調整)
- ★議会報編集委員会(市議会だよりの編集)

開催日は、市ホームページ、市議会だよりに等でお知らせします。

Q どこに行けばいいのですか？

A 定例会や臨時会の本会議は**三条庁舎5階**、その他は**4階**です。



三条市役所三条庁舎

三条庁舎正面玄関前

エレベーターで5階または4階へ



傍聴席からの議場



受付簿に記入します

エレベーターを降りて「左」へ

会議の資料です

5階議場の場合

インターネットで市議会の模様を配信しています



スマートフォンやタブレットでも

定例会や臨時会の本会議の様子は、生中継・録画中継でご覧いただけます。なお、録画中継は正式な会議録の公開前に、本会議での議員や市長等の発言を動画で配信するものです。

パソコンでの視聴の方法



三条市ホームページの「市政」から「市議会」をクリック
(三条市ホームページのアドレスは <http://www.city.sanjo.niigata.jp/> です。)



さらに「インターネット会議中継」三条市議会インターネット会議中継トップページへをクリック



視聴したい会議を選択してご覧ください。
(検索は会議名、議員名、会派名、質問項目を対象としています。)

議 会 日 誌

1月

- 8日 議会報編集委員会
議会運営委員会
- 9日 経済建設常任委員協議会
- 15日 議会報編集委員会
総務文教常任委員協議会
- 17日 議会報編集委員会
- 28日 市民福祉・総務文教・経済建設常任委員連合協議会
- 29日 議会運営委員会行政視察
～31日（愛知県豊明市、愛知県岩倉市、埼玉県久喜市）

2月

- 7日 広島県三原市議会視察来条 3名
- 8日 平成31年度新潟県市議会議長会春季定期総会
（村上市）
- 14日 市民福祉常任委員協議会
- 18日 平成31年度当初予算の概要説明
各派代表者会議
経済建設常任委員協議会
- 22日 議案概要説明会
各派代表者会議
議会運営委員会
- 28日 議会運営委員会

6月定例会日程

- 6月17日(月) 本会議[提案説明]
- 18日(火) 本会議[大綱質疑～委員会付託]
- 19日(水) 本会議[一般質問]
- 20日(木) 本会議[一般質問]
- 21日(金) 本会議[一般質問]
- 24日(月) 市民福祉常任委員会
- 25日(火) 経済建設常任委員会
- 26日(水) 総務文教常任委員会

- 7月 1日(月) 本会議[委員長報告～採決]

3月

- 1日 各派代表者会議
本会議[施政方針演説、提案説明]
議会運営委員会
市民福祉常任委員会
市民福祉常任委員協議会
経済建設常任委員会
- 5日 本会議[大綱質疑～委員会付託]
- 6日 本会議[一般質問]
- 7日 本会議[一般質問]
議会運営委員会
- 8日 本会議[一般質問]
高等教育機関調査特別委員会
議会報編集委員会
- 11日 総務文教常任委員協議会
- 12日 市民福祉常任委員会
- 13日 市民福祉常任委員会
市民福祉常任委員協議会
- 14日 経済建設常任委員会
- 15日 経済建設常任委員会
経済建設常任委員協議会
- 18日 総務文教常任委員会
- 19日 総務文教常任委員会
総務文教常任委員協議会
- 22日 各派代表者会議
議会運営委員会
- 25日 本会議[委員長報告～採決]
- 26日 兵庫県尼崎市議会視察来条 7名
- 28日 総務文教常任委員協議会
地方議員研究会研修[自由クラブ]
～29日（東京都中央区）

編 集 後 記

市議会もさまざまな意味合いで変わりつつあります。行政と議会は、対等の立場で車の両輪に例えられます。議会は、行政のチェック機関であることを掲げております。元号も令和に変わり新しい年度に入りました。我々議員も初心に帰り市政発展に貢献する所存です。

議会は、市政の最高意思決定機関としての位置付けです。現

在は、平日日中での開催ですが、三条市議会の定例会を傍聴していただければ幸いです。また、インターネットでの生中継・録画中継も実施しております。

三条市議会は、開かれた議会を目指します。市民の皆さま方の忌憚のないご意見も、是非お寄せください。



この印刷物は、
植物油インクと再生紙を
使用しています。

発行／三条市議会 編集／議会報編集委員会 責任者／議長 阿部銀次郎

三条市議会事務局

電話：0256-34-5583

<http://www.city.sanjo.niigata.jp/>

Fax：0256-33-8861

E-mail：gikaij@city.sanjo.niigata.jp

議会報編集委員会

委員長／笹川信子

副委員長／馬場博文

酒井 健 坂井良永 長橋一弘